

炉边谈话 457

アナキズムとシェルドン

先般、アーサー・フレデリック・シルドンの個人歴について触れられている文献が稀有に近いことを申し上げましたが、「ガルシアへの手紙」や「友人とはあなたのすべてを知っているが、なおかつあなたを好いてくれる人のことだ。」「報酬以上の仕事をしないものは、仕事並みの報酬しか得られない。」「よい仕事をしてもらいたければ、忙しい人に頼め。他の人たちは時間がないから。」「心を込めて仕事をしなさい。そうすればあなたは必ず成功する。なぜなら、そういう人はほとんどいないからである。」などの名言を残した有名な、作家・教育者である エルバート・ハーバード氏が、特にシェルドンの業績に対して認めた賛辞を発見したので、当会の翻訳担当の小西宋十氏を煩わせて、その一部をご紹介しますことにしました。

ハーバード氏がミシガン大学に籍を置いていたこと、シェルドン氏が10歳ほど年下であることを考えると、多分子弟の関係にあったことと推察されます。ハーバード氏は社会的、経済的、国内的、政治的、精神的、精神的な自由を信じ、自らをアナキストと自認し、「私はアナキストである。すべての良い男性はアナキストである。教養を持ち、親切な紳士、すべてただの男性はアナキストである。イエス・キリストは典型的なアナキストである。」「アナキズムは、国家や権威の存在を望まず、不必要、有害であると考え、その代わりに国家のない一つのまとまった政治思想社会や政治思想や個人主義や自由主義の流れを汲むものなど、時には相互に衝突する多数の潮流の総称なのです。」と述べています。

ハーバード氏は自らがアナキストであることを告白することによって、シェルドンも共に正当な範疇に属する学者であることを証明すると共に、世の中の人に誤解されているアナキストの定義を正当化しようとしたものと思われます。

アナキストと言うと共産主義者や無政府主義者を連想しますが、後にケインズが修正資本主義を提唱した際に、国家の政策として実施したのに対して、シェルドンは自己責任や事業主の責任としてこれを行ったことから、経営学者としては利益の再配分や円満な労使関係の改善に対して高い評価を受けますが、一部の保守的なロータリアンからは社会主義者と誤解を受けることになります。

シェルドニズムはシェルドン自身を越えて偉大なものに発展します。なぜなら、無数の精神がそれをたゆまず磨き、高めるからです。シェルドニズムはまだ発展途上なのです。これはシェルドンにしてもそうです。しかしシェルドンの生身には限りがあります。シェルドニズムは無限の理念です。シェルドニズムを完成させるには、無数の人と無限の時が必要です。

シェルドニズムとは経営と販売の学問です。

学問とは、普通の人々の普通の知識を、簡明に区分けしたものに他なりません。誰でもが知

っていることを集約し、誰でもが使えるように組み立てることです。それは創造であり、要素が組み合わせあって実や花や種を生じさせる自然に、その類型が見られます。

シェルドンはこの心の道具を提供します。

全ての人間はセールスマンです。わたし達は誰にしろ、何かを提供するのです。医者も、法律家も、聖職者も、役者も、教師も、画家も、演説家も、詩人も、役人も、商人も、全ての人が自分の能力、技術、知識を売ります。能力、技術、知識の積み重ねから得られた結果を売ります。自らの先見の明や機知や賢さを売ります。

宇宙はモノイドです。そのように単一の誠実さにおいて、シェルドニズムは可能です。種の差別はありません。私たちは互いの一方であるのみならず、互いそのものなのです。他方を傷つけることは自分を傷つけることです。人を助けることがすなわち自分を助けることになります。

シェルドニズムは単一性の上に建っています。

その礎石は互惠主義です。その屋上に翻る旗は、唯一の語を送ってきます。「相互主義」です。

したがって、シェルドニズムとは、世界と出会って、成功裏に自分の商品とは何かを知らしめる技法に他なりません。シェルドニズムとは、人とその仲間に化学反応を起こさせる秘法なのです。技術は美しいばかりでなく、効果的でなければなりません。幸運とは、まだ解明されていない科学です。超自然は、まだ理解されていない自然です。

事業で成功した人たちをわたし達は「幸せ者」と言います。しかしよく見てみれば、成功者は全て何らかの資質を備えていることが分かります。人が成功するか失敗するかは、肯定的な資質が不足していないか、否定的な資質を持っていないかに係わってきます。

過去の学校は学習重視一辺倒でした。昨今ようやく、どんなに知識があってもある種の資質がなければ、その人は日陰の道を歩むか、挫折するということが分かってきました。

しかし実際は、偉大な多くの人が学校の成績がよかったにもかかわらず、成功したということなのです。これは驚くべきことです。しかし真実は、学校の成績は何の関係もないのです。成績がよい人が成功することもあれば、よくない人がそれをしのぐこともあるのですから。

わたしはこの10年、このことを言い続けてきましたし、書き続けてきました。数少ないとはいえ、同じことを言った人もいます。しかしこれまでそれに同調した人はほとんどいませんでした。

わたしはこの世に少しでも影響を与えることができたでしょうか。

私は少なくとも一人には、影響を与えたと思います。その人こそシェルドンです。

シェルドンはわたしの持論を実行に移しました。その要点は、成功する、役に立つ人間を育てること、頭だけではなく、人間全体を教育するということです。

私は真実を隠したりはしません。発想には著作権はありません。それは宙にあって、全ては投げ縄で補足する人にこそ属します。

シェルドンは、時代の哲学を掲げてきたと言います。このことはわたしが指摘するまでは彼自身知らなかったことですが。ここに彼の成功の秘密があるのです。

アーサー・フレデリック・シェルドンという田舎の一教師が、書籍販売人の仕事に取り組み、大学に行くだけの学資を作り、卒業後また書籍販売を業務とし、販売人にどうすれば本が売れるかその方法を教えながら、彼は偉大な思想を育んでいたのです。それは彼自身の思いよりもずっと偉大な思想でした。

その思想は彼の学校で、事実を教えるのでなく、資質を育成する教育として結実しました。それは他の多くの学校に広まるでしょう。シェルドン校の学生は、幸福になるように教育されます。他の学校の生徒もそうあるべきです。

シェルドンは、強い、有用な人間には四つの概念が必要だと信じています。能力と、信頼性と、忍耐力と、行動力です。

人生の成功とは、健康、長寿、名誉、そして正しく使える金があることだと、シェルドンは言います。

成功の要因は個人それぞれ誰でも持っています。それらの要因を引き出すことが教師の務めなのです。教師も医者も、生命を活性化する特別の知性を持っているわけではありません。両者とも、自然に逆らわないやり方で初めて成功するのです。

シェルドニズムは、学生の肯定的な資質を引き出し、育て、活性化する方法です。同時に否定的資質を押さえ込むのです。その押さえ込みは禁止によってではなく、喫煙、食べすぎ、不規則な習慣、間違った呼吸法、賭け事にふける悪癖も、全て意志力の欠如から来るのだということを確認すればいいのです。それらは惰性になり、最終の死に向かって一直線です。何の益もなく、不条理です。知らず、感じず、意志のない人は死んだも同然です。知識を増し、感性を豊かにし、意志を強固にするのが、シェルドン校の仕事なのです。自分で学ぼうとしない人以外に、入学制限はありません。制限は自分自身です。学ぼうという意志がありさえすれば、それはあなたが何かを構築しようとしていることを証明しているのです。年齢、性別、肌の色、経済状況、学歴、宗教は、一切応募の条件にはなりません。

社会に奉仕してわが身を助けようという力のない人はダメです。説教はそれほど役に立ちません。医を实践するよりむしろ健康を实践したほうがいいのです。

わたし達の拘束を解く解放宣言は発せられません。誰も、わたし達を破滅から守って、代りに稼いでくれる人はいません。誰も代りに生きてくれません。しかし、どう考えるか、どう知るか、どう感じるか、どう行動するか、そのやり方を教えてくれる人がいるとすれば、その人は真に偉大です。これが新しい真実の教育です。